

科目名	在宅看護方法Ⅱ (看護実践) In-Home Nursing Ⅱ		担当教員 (研究室番号)	篠原 真咲 (409) 六角 僚子 (405) 日比野 直子 (406)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	篠原: masaki.shinohara@mcn.ac.jp 六角: ryoko.rokkaku@mcn.ac.jp 日比野: naoko.hibino@mcn.ac.jp					
履修年次	3年次前期	科目区分	専門科目・広域看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
科目目的	在宅看護分野で用いられる6領域のアセスメントに基づく思考過程を学び、療養者と家族のニーズにあった在宅看護過程の展開方法について学ぶ。在宅で看護を提供するにあたり必要となる知識・技術、社会資源について学ぶ。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	G 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・論理的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけている。(思考・判断)										
	関連するDP	F 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につけている。(技能・表現) H 人々の健康に関する課題の解決に向けて、安心・安全・安楽・自立を基本とした看護を実践する技能を身につけている。(技能・表現)										
到達目標	1. 療養者・家族のニーズに合わせた在宅看護過程の展開方法が説明できる。 2. 在宅で医療や看護を提供するにあたり、必要となる知識や技術についてエビデンスを元に説明できる。 3. 社会資源の活用方法について説明できる。											
成績評価方法(基準)	100点満点(小テスト10点、課題レポート15点、ルーブリック評価20点、技術チェック5点、授業参加状況及びグループワーク参加度・発表内容50点)からの減点方式とし、ポートフォリオにより総合的に評価する。授業の2/3の出席をもって評価の対象とする。遅刻3回をもって欠席1回とみなす。出席把握は、授業開始時に実施する小テスト等にて行う。											
再試験の有無と基準等	科目の可否決定で不合格となった場合は、面談とレポートを実施する。再試験はしない											
教科書	六角 僚子: アセスメントからはじまる高齢者ケア(医学書院)											
参考書等	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術(メディカ出版) 他											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	暮らしをアセスメントし、在宅看護過程の展開方法を演習します。療養者の生活を理解し、家族を支え、多職種間で連携しながら療養者と家族を在宅で支援する方法を学びます。											
備考	在宅看護方法Ⅰの単位を修得していなければ受講できない。											
回	学習項目	学習内容					主担当教員	授業方法				
1回	在宅看護実践と技術	1. 科目オリエンテーション 2. 在宅療養に関するグループディスカッション ○事前学習: 在宅で療養する際の不安を考え、レポートする。					篠原	講義 演習				
2回	看護過程の展開①	アセスメント(健康領域・安全領域) ○事前学習: テキストを参考に事例データを書き込んでくる。情報収集の方法についてレポートする。					篠原 他	講義 演習				
3回	看護過程の展開②	アセスメント(自立支援領域・安心領域)発表 ○事前課題: 事例に該当する社会資源は何かレポートする。					篠原 他	演習				
4回	看護過程の展開③	アセスメント(個別性領域・支援体制領域) ※第7回の事前学習内容を伝達する ○事前課題: 事例の中で家庭にあるもので保清ケアやリハビリを実施するにあたり、どんなものが代用可能かレポートする。					篠原 他	講義 演習				
5回	アクティビティケア(リアリティ・オリエンテーション等認知症の方への対応方法)	療養者・家族の生活の質を向上させる方法の一つを学ぶ。実際にグループでリアリティ・オリエンテーションを実践する ○事前学習: 季節のものを持参する(季節のもの;植物、食べ物など)。自分なりにリアリティ・オリエンテーションを考え、方法についてレポートする。					篠原 他	講義 演習				
6回	看護過程の展開④	関連図 ○事前学習: 関連図とは何かをレポートする。					六角 他	講義 演習				
7回	創傷のある療養者のケアについて①	創傷ケアの基本的な方法を学ぶ。各グループごとに事前学習で学んだ内容を発表する。調べる内容については、第4回に伝達する。 ○事前学習: 褥瘡、気管切開、ストーマ、胃瘻、CVポートについてレポートする。					篠原	講義 演習				
8回	看護過程の展開⑤	関連図の完成・課題抽出・長期目標の作成 ○事前学習: 関連図から課題の抽出時、何を優先したのかをレポートする。					六角 他	講義 演習				
9回	看護過程の展開⑥	看護計画立案、ロールプレイ ○事前学習: 看護計画の作成の原則に基づいて計画を立案する。					篠原 他	講義 演習				
10回	創傷のある療養者のケアについて②	食事・排泄に関する基本的な援助方法を学ぶ。各グループごとに事前学習で学んだ内容を発表する。 ○事前学習: 摂食障害や排泄機能障害時の看護をレポートする。					篠原 日比野 他	講義 演習				
11回	看護過程の展開⑦	事例をもとに、実習の行動計画を発表する。ロールプレイを通して、在宅療養での支援を統合させることを学ぶ。 ○事前学習: 事例をもとに実習行動計画を記載する。					六角 他	講義 演習				
12回	メディカルフットケア①	メディカルフットケアを通して足の観察やケアの方法を学ぶ。 ○事前学習: 代表的な足・爪のトラブルが起きやすい疾患とその看護についてレポートする。					篠原 他	講義 演習				
13回	メディカルフットケア②	メディカルフットケアをとおして、爪のケア方法を学ぶ。技術チェックを行う。 ○事前学習: 浮腫の種類とその看護についてレポートする。					篠原 他	講義 演習				
14回	在宅における災害支援、ルーブリック評価	在宅における災害支援方法を学ぶ。ルーブリック自己評価を記入する。 ○事前学習: 学生自身の災害の経験、自宅での災害対策についてレポートする。					日比野 他	講義 演習				
15回	在宅看護のロールプレイ	模擬自宅を想定して訪問のロールプレイを行う。実際に訪問看護の流れを知る。 ○事前学習: 病院看護師と訪問看護師の違いが何かを考え、レポートする。					篠原 他	講義 演習				

## 学 習 課 題

第1回～第15回課題（事前）：学習項目の教科書該当頁等を参考に、レポートを作成する。事前課題は、講義中使用することもあるため、終了後提出とする。

各授業開始時に小テストを実施する（演習を実施する7回、10回、12回、13回、15回は除く）。

準備するもの：紙フラットファイル（A4縦、2穴）、インデックスシール（単元の見出しをつけるためのもの）

配布資料のファイリング方法：講義で配布する資料、課題、事例と記録用紙一式、小テスト、自己学習した資料等をファイリングして、学習成果を効果的に整理すること。この講義で使用した資料は、領域別実習で使用します。

## 実務経験を活かした教育の取組

・担当教員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。